

Rescue from TONDABAYASHI Petshop



Rescue from TOM

富田林市の、静かできれいな通りにある、その名も「アミーゴ」(友達を意味する)というペットショップで私たちが目撃したのは、店名とはおよそ似つかわしくない、信じられないような悲惨な光景でした。店の脇道には、暑い日差しにさらされた幾つものケージが、あたりかまわずに積み、歩道にまではみ出して、排泄物のひどい悪臭が一帯に漂っていました。1つのケージに1匹か2匹ずつ入れられた小さな犬は(そのほとんどがミニ柴犬でしたが)、ぐったりとして、ただあえいでいるだけでした。からっぽの水入れ皿には汚物がこびりつき、おしっこが垂れて、下のケージに入っている動物の体にまでかかっていた。衰えた筋肉と、ワイヤー・ケージの底に引っかかっている爪は、彼らが、ただの一度も散歩をさせてもらえなかったことを物語っていました。近所の人々が、警察と保健所に苦情を訴えましたが、何らの措置も講じられませんでした。このような状態が、動物虐待であることは言うまでもありませんが、保健衛生条例にも明らかに違反しているにもかかわらず、放置されていたのです。所有者が判明し、男は27匹の犬を解放することに同意しました。8匹はアークに、残りは他の人たちの所に引き取られました。しかし、残念ながら私達がしたことは、ペットショップ経営者の過剰在庫品整理に力を貸しただけに他ならず、おそらく、男は、ブリーダーと称する「繁殖工場」から、また別の犬を連れて来て、ケージを満たすことになるのでしょう。この事例は、日本の役所の悲

In a neat quiet street in the city of Tondabayashi we found a hell-hole that called itself AMIGO pet shop. Cages stacked in the hot sun filled the side alleys and spilt onto the pavement, the stench of the putrid feces pervaded the area. Crammed one or two to a cage the small dogs, mostly mini Shibas, could only pant in distress. Their empty water bowls were encrusted with filth and their urine seeped down onto the inmates below. Their wasted muscles and claws curled round the wire base proved they had never been walked. Although neighbours had complained to the police and the hokensho, neither would take action, despite the fact these conditions contravened hygiene regulations not to mention animal abuse. The owner was found and agreed to release 27 dogs, 8 to ARK and the rest to other people. The sad fact is that we were merely doing him a favour by removing his surplus stock and as likely as not he would just refill the cages with others from his breeding factory. This case reveals the pathetic inadequacy of Japanese authorities and the lack of effective laws to stop this unending abuse.

Happy ending! What a transformation. These former bundles of misery took on a new lease of life. They learnt the fun of going on walks, of playing and best of all they have all found new families to love and care for them.

しむべき現状と、このような果てしない動物虐待を終わらせる有効な法律がないという問題を浮き彫りにしています。アークにやって来た8匹の犬のその後はというと……めでたし、めでたしです。何という一大変化でしょう。あの、惨めな肉塊にすぎなかった彼らが、命拾いをして、ここで幸せに暮らしているのです。散歩に行ったり、遊んだりする楽しみを初めて知りました。何よりも嬉しいのは、8匹とも、愛情を注ぎ、面倒を見てくれる新しい飼い主が見つかったことです。

